

学長café進捗状況

【施設】

《体育施設の充実について》

<学生からの要望>	部署	<当時の回答>	<現状>
<ul style="list-style-type: none"> （教職課程）ラグビーやハンドボールなどの練習施設がなく、競技の幅が広がらない。施設を充実してほしい。 	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 教員採用において、ラグビーやハンドボールを指定している県はほとんどないことから、現在、教員採用科目として多い、「陸上」、「バレーボール」、「サッカー」、「バスケットボール」、「剣道」、「ダンス」、「水泳」、「器械体操」の8科目を開講しており、現状、教員採用試験に対応していると考えます。教員採用にあたって、保健体育教員は、実技はもとより、教員としての資質も問われるため「教職に関する科目」の理解が重要であり全体的な学力のレベルアップが必要であると考えています。このことから、教職課程委員会を中心に座学は当然ですが、筆記試験対策を含め対応しています。ただ、国体等を見据えて、体育競技において全国レベルで活躍した学生を採用する県もありますが、本学では難しいのが現状です。施設等の拡充にあたっては、今後、学生の意見を取り入れ大学全体で検討していきたいと考えます。 	当時と同様です。
<ul style="list-style-type: none"> ソフトテニス部のコートにてライトが当たらない場所があり、暗くなるとボールが見えず困っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 業者と現地確認しました。今後対応予定です。 	現地確認し、現在検中です。
<ul style="list-style-type: none"> ウエイトトレーニング場が狭く、使用しずらくもったいない。本学科ではウエイトトレーニングも、学修の一部なので充実させてほしい。また、男子の利用者が多く、女子が使用しづらい。 		<ul style="list-style-type: none"> トレーニング機器が重量物であることから、設置に当たっては施設等の整備が必要となります。教務課としても授業を円滑に行うため、今後も継続的に要望事項としていきたいと考えています。 	当時と同様です。
<ul style="list-style-type: none"> 体育館にあるウエイトトレーニングルームが狭い。運動部が多く使用できないことがある。スペースを広げるため施設を作っていただけはないか？ 		<ul style="list-style-type: none"> トレーニングルームを作るだけではなく誰がどうやって管理するかも併せて検討する必要がありますので、すぐにという訳にもいきません。しかし同様の要望が他にも上がっていることは把握していますので検討していきます。 	当時と同様です。
<ul style="list-style-type: none"> トレーニング場やグラウンド整備が、今後の継続的な要望事項という回答であったが、どの程度の期間で改善されるのか？明確な時期を教えてください。 		<ul style="list-style-type: none"> トレーニング場やグラウンド整備については、数千万円～数億円規模の経費が必要になります。開学から20年近くが経過する中で、施設・設備の補修も増加しており、その経費も年々増加しています。全学的な優先度や財務状況の中で、対応が後手に回っていることは否めません。明確な時期の回答が求められていますが、現時点では回答することはできません。ただし、必要性や要望があることは把握していますので例えば周年事業などで、多額の寄付が見込まれる場合などに、検討していきたいと考えています。 	当時と同様です。
<ul style="list-style-type: none"> 体育館共用室の空調やトレーニング場整備について、すぐに実現できないことは十分に納得できるが、このことを体育会に伝える際、どの程度待つ必要があるのか、スケジュール感や上手な伝え方を伺いたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各種施設設備システム系の修繕・改善意見が出ていますが、開学から20年が経過し経年劣化や故障の頻発また学部学科の増加や、教育・研究・学生生活の改革・改善により、管理すべき建物・施設・設備・システム・ネットワーク自体も大幅に増加してきました。なかなか学生の目につく部分ではないかと思いますが、これら見えない部分のインフラ維持のランニングコスト、修繕・更新にも、相当額の経費を支出してきているところですが、その一方で、ようやくここ数年で単年度の支出が黒字化した状態で、投資のための十分な資金ははまだ不足している状況です。そのため限りある資金について、優先順位と投資対効果を見ながら適宜、環境整備を行っているところですが、残念ながら明確に時期をお答えすることができない状況です。執念事業における寄付金募集などを活用して対応していきたいところです。 	当時と同様です。
<ul style="list-style-type: none"> グラウンド整備について 		<ul style="list-style-type: none"> 【教務課】 <ul style="list-style-type: none"> 除草作業を引き続き実施すると共に、教務課としても授業を円滑に行うため、今後も継続的に要望事項としていきたいと考えています。 【総務課】 <ul style="list-style-type: none"> グラウンドの整備は課題と認識していますが、全面的な土壌改良には、数千万円～数億円規模の経費を要することが予想されるため、早急は対応は難しい状況です。一方、安全面上の配慮は重要ですので、小石除去等については、学生会やグラウンドを利用する部活・サークル等と協力した活動（小石拾い）もできないか、今後検討できればと考えます。 	当時と同様です。
<ul style="list-style-type: none"> グラウンドの雑草が多く、活動できるエリアが限定される。グラウンドの整備をしてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> 定期的に除草作業を実施してまいります。 	定期的に除草作業を入れています。
<ul style="list-style-type: none"> 本学で体育会を牽引している「アーチェリー部」と「空手道部」の2強の中で、空手道部だけが大学内に練習場がないことに不満を感じる。ぜひ学内に道場を作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> アーチェリーについては、競技の性質上、安全面の配慮もあり、専用の練習場がないと、まったく練習環境ない、いわゆる1か0かの条件のもとで、整備をおこなったところです。空手を含む武道場の整備については、大学としても検討課題として理解していますので、大学全体の予算状況を見ながら検討を進めたいと考えています。 	練習場所をMGレヂデンスの体育館へ変更し対応	
<ul style="list-style-type: none"> 現在、法人本部の上階を練習場として使用しているが、施設の老朽化や破損、風通しなど環境が悪化している。道場移転の話があったが、1年生の誰かが入寮することが条件と言われ、今更どうすることもできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人本部棟3階を練習場としていますが、支柱があることから正式なコートで練習ができておらず、更には施設の老朽化や破損、風通しなど環境が悪化しています。現在、MGレヂデンス（運動部寮）と調整を行っており、体育館使用の許可を得ることが出来ましたが、学生たちの移動手段が限られており、特に夜間の徒歩や自転車での移動には不安があるため、長期休暇中や土曜日の午前中の使用を予定しています。しかし、通常練習は現在の法人本部棟を使用させていただきますが、来年度入部者数が増加（12名予定）することを加味すると、常に使用できる道場があることが望ましいです。 	練習場所をMGレヂデンスの体育館へ変更し対応	
<ul style="list-style-type: none"> 硬式野球部の施設設備が優先されているが、他の部への支援も同様に行ってほしい。先日的大雨で、アーチェリー一部の部室が床下浸水を起こしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> アーチェリー一部部室の床下浸水は事務局に正式な報告がなかったようです。安全管理に関する事案は優先して対応しますので、早急な連絡をお願いします。また、部活間のし施設整備の優先状況についてはできるだけ改善できるように努めます。 	当時と同様です。	

学長café進捗状況

【施設】

《ウォシュレット、擬音措置》

＜学生からの要望＞	部署	＜当時の回答＞	＜現状＞
・多目的トイレの使用について、健常者が使用しているため車椅子利用者が使用できないことが度々ある。改善できないか？	総務課	・多目的トイレは誰でも利用できるため、利用制限はできないが譲り合って利用するよう掲示をしました。	当時と同様です。
・各種改善について（多目的トイレの使用に対する周知対応について）		・多目的トイレに関してはH30年4月現在でウォシュレット機能便座を6台（研究棟1階・3階、2号館1階・2階、3号館2階、コクサイマート裏）設置しています。その6か所には6月より荷物置きカゴも設置しています。	当時と同様です。
・トイレの便座ヒーター、ウォシュレットの導入と、乙姫（擬音装置）の修理をお願いしたい。		・擬音装置は申し出があれば都度対応していますので、事務局までご連絡ください。ヒーターとウォシュレットを導入すると、工事費用は当然ですが、その後の故障や掃除の手間の増大等のランニングコストも発生することを理解していただきたいです。ただし、必要性があることは理解していますので、多目的トイレは随時改修しています。	随時対応予定です。
・トイレの「音姫」の音が切れかかっているところがある。また、ウォシュレットがないところある。トイレの改修してほしい。		・電池が切れている場合は都度対応するようにはしておりますが、再度徹底致します。ウォシュレット化は逐次進めていく予定としております。	随時対応予定です。
・女子学生向けに化粧室を設置して欲しい。		・他の施設・設備の改修と優先順位を決めながら検討します。	当時と同様です。

《Wi-Fiについて》

＜学生からの要望＞	部署	＜当時の回答＞	＜現状＞
・学内のfree Wi-Fiをもっと使いやすくしてほしい。	教務課	・2018年度に3カ所アクセスポイントを増設。	
・学内のfreeWi-Fiについて。アプリケーションソフト「スグキク」を使ってここ数ヶ月授業が行われたが、Wi-Fiへの接続がうまくいかなかったので、改善して欲しい。		・昨年度も3カ所増設するなど、Wi-Fi環境も随時改修しております。その教室だけなのか多くの教室が該当するのか確認し、対応します。また、Wi-Fi環境の利用が、教育・研究の限定されたものであれば、まだ比較的、通信容量にも余裕があるところですが、スマートフォン等による私的利用も特に制限していない（制限できない）ため、通信環境の改善と使用料の増大が、結果として、いたちごっこになっている可能性もあります。ICTの授業等での活用は大学としても推進しているところですが、授業本番での利用前に一度テストランをするなどして、現在の通信環境で実現可能な取組なのかを、あらかじめ確認し、その時点で支障が生じるようであれば改善してから実施するという仕組み作りも必要なのかもしれません。	今年の遠隔授業にともない学内Wi-Fiの負担を軽減する為、各教室にCATVのWi-Fiを新たに設置しました。また、昨年度後期より本年度にかけて4・5号館のWi-Fiの点検及び改善しております。今後も皆さんの要望に応えるため、日々改善する予定です。
・4号館5号館のWi-Fiが脆弱で通信に支障をきたしている。改善できないか？		・Wi-Fi環境も当初の導入よりかなりの年数が経過していますので、大幅な改修時期であることを認識しており、検討しています。昨年もアクセスポイントを3カ所増設しており、随時対応はしています。ただ、こちらで調査しても同様の状況が出ない場合が多いので、どの教室でどの時間帯に繋がりにくいなどの具体的な意見があるとたずかります。	同上
・Wi-Fiが5202、5203、調理実習室、更衣室、微生物学実習室、藤井先生の研究室が入らない。		・先生達の意見も聞きながら、優先順位を決めて設置していきます。4月に5103教室、4号館4201教室、4202教室には新設しています。なお、あくまで授業のためのWi-Fiであり、更衣室への設置は考えていません。	同上

《その他》

＜学生からの要望＞	部署	＜当時の回答＞	＜現状＞
・TOEIC対策の勉強にあたり、図書館で参考書などを求めると古いものしか置かれていない。最新のものを準備して欲しい。	図書館	・TOEICやTOEFLなど多数ある資格・試験対策資料をどこまで揃えていくか、意見を取り入れながら対応しているが、判断が難しく苦勞している。しかし現実に最新の資料が揃っていないことは事実であるため、現在所蔵している古い版については最新版を購入する等の作業を進めていきたい。	幅広い学生が対象となる就職試験対策の関係書は昨年度より予算を確保し継続して購入するようにはしています。個別の資格については学科と相談しながら今後も検討していきます。
・梅雨の時期など、雨が續くと薬学部棟と4号館の間に大きな水たまりができる。また、薬学部と人間社会学部研究棟をつなぐ1Fの通路も、屋根はあるものの風が強くと雨よけとして機能していない。改善できないか？	総務課	・水たまりは改善を検討します。研究棟・薬学棟を繋ぐ通路の問題は把握していますが、本学の強風に耐える・大型の屋根となると多額のコストがかかりますので、将来的には改善をしたいと思います。	当時と同様です。
・学生駐車所にラインを引いて欲しい。	総務課	・現在駐車場は舗装されていない為、ペンキ等でラインを引く事ができません。大学の予算が限られているなかで、教育や学生活動に直結する部分の整備が優先となり、駐車場の整備が追いついていない状況ですが、安全面での要望であるため解決策を検討していきたいと思います。	当時と同様です。
・健康管理学部のロッカールームが非常に狭く、人が交差できないので改善して欲しい。	総務課	・建物の改装は多額の費用が発生します。ロッカーのサイズを小さくすることで通路の確保も考えられますが、ロッカー自体の利便性を損なうことも考えられますので各方面からの意見を聞き、実現可能な方法を検討していきます。	当時と同様です。
・熱中症予防として、体育館側の体育会共用室にも空調を入れてほしい。	学生課	・業者への見積もりをとるなど検討は進めていますが、全体の予算の状況と、運用の状況や管理方法の課題等を総合的に判断しながら導入可否を判断する必要があります。	令和2年度中に実施いたします。新型コロナウイルス感染症対策のため、共用室には長時間滞在できませんが、施工後は正しい利用をして下さい。
・ピアサポートに所属し、大学のバリアフリーMAP作成にも関わった。その中で、バリアフリー化された後の傾斜でも厳しい事実が分かった。前向に改善して欲しい。	CH	・指摘のあった箇所は必要に応じて改修を実施中です。また、今年度も長崎国際大学ピア・サポート学生組織（NPS）により、学内を調査し改善点を確認しています。その調査によって挙げられた改善点については、今後もCHサポートセンターを通じて関係部署と連携をとり、前向きに改善していく予定です。	長崎国際大学ピア・サポート学生組織（NPS）の活動の一部として行ったバリアフリーマップの調査結果や配慮申請等により要望や指摘があった箇所は改修しています。今後も前向きに改善していく予定です。

学長café進捗状況

【施設】

【教務】

<学生からの要望>	部署	<当時の回答>	<現状>
<p>・成績評価や履修状況など、紙媒体ではなくManabaのようなウェブサイト上で閲覧・確認できるようにならないか以前同じ要望を出しているが、検討結果か進捗状況が知りたい。</p>	教務課	<p>・現行のシステムの更新の時期を迎えるため、学生の皆さんの要望並びにセキュリティなどの状況も踏まえて検討を行いたいと考えています。なお、履修状況については、出席管理システムで確認できる状態にあると考えています。成績表等を直接配布することで学生の皆さんとコミュニケーションを取ったり、質問への対応の期間と考えており現在は紙媒体で配布をしています。</p>	<p>今年度より履修登録についてはマナバ上で行うことが可能となりました。閲覧及び確認もできます。成績についてもシステム上可能となっていますが、成績は非常に重要な個人情報となる為、現在セキュリティ面や運用面について慎重に検討します。もうしばらく待ってください。</p>
<p>・成績表が郵送されず、教務課に確認したところ年齢条件があり一定年齢以上の学生には郵送していないと言われた。何かしらの説明があるか全員に郵送するもしくは希望者のみに郵送するなどしてほしい。</p>	教務課	<p>・成績表の配布は保護者の方宛に発送しております。学生の皆さんにはそれぞれの学期の開始にあわせて配布し、その学期の履修登録を行います。保護者の方及び学生の双方から希望があった場合は、発送するように対応したいと思います。今後はウェブ上で成績が一定期間確認できるシステムも検討中です。</p>	左記と同様
<p>・グローバルツーリズムコースは2年生の後期から長期留学が始まる。今年数多く入学した1年生に関する留学先選定に関して、例年であれば帰国した先輩の話を聞いて希望調査を提出できていたが、今年はその機会もなく生の情報なしに留学先が決定している。加えて、去年まではIELTSスコアも希望留学先に影響があったことを振り返ると、今の1年生はIELTS受験時には既に留学先が決まっており、決定までのプロセス変更不安が残る。また、大学としてグローバルの学生をサポートしてくれている国際交流・留学生支援室スタッフの支援にも力を入れてもらいたい。</p>	教務課 国留	<p>・留学報告会を兼ねたインターナショナルフェアを開催し、上級生の体験談の講演および相談ブースを設置して対応を図りました。また、毎週水曜にE-up Lunchでは上級生との交流も行っており、直接留学先の情報を入手する機会を半年間程とれるように配慮しています。コースの開設前は留学希望者が年に数名であり2017年度までは少数対応の選考方法をとっていましたが、留学希望者の増加と留学先の多様化に伴い、学生に不利益にならないよう、確実に余裕を持ってビザの取得を行えるようにすることを主眼として、2018年度より選考時期を変更した。また、選考試験を年1回に変更し、選考過程の複雑さを解消し明確化を図りましたが、IELTSの結果による留学内定先に変更の可能性があることは従来の選考方法と変わりありません。国際交流の留学手続き担当者が1名である上に、全学的な留学支援や国際交流業務の担当であるため、グローバルツーリズムコースのみの担当としての支援は困難です。留学希望者や協定先が増加している現状を鑑み、支援体制の構築について検討します。</p>	<p>インターナショナルフェアで、留学体験談を聞き、派遣先大学個別ブース相談コーナーで情報収集をするという流れは変わりありません。フェアは、5月か6月に開催していますので、留学希望調査を出す10月末までには情報収集する時間は十分にあると考えます。国際交流・留学生支援室に相談に来る学生には、先輩学生と繋ぐ支援をしており、先輩学生の諸々のサポートにはいつも感謝しています。IELTSの受験時に既に留学先が決まっているという件については、最初は、内定者として扱っており、試験結果がわかった後の3月に決定者としています。内定を決定にするという明確な目標があるため、IELTS受験にもさらに力が入るのではないかと思います。支援スタッフについては、国際交流委員会にグローバルツーリズムコースの教員2名も所属していますので、一丸となってサポートしていけたらと思います。今年度は、新型コロナウイルスの影響で留学そのものもですが、インターナショナルフェアも開催することが出来ませんでした。次年度留学を希望する学生へは一度だけ対面で説明会を実施し、その後は、予約制で個別相談期間をもうけました。本状況下、その時々に応じた形を取りながら引き続き留学サポートを行っていきます。</p>
<p>・新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、遠隔授業が行われ期間限定ではあるが授業を見返し復習もできとも助かっている。対面授業でも遠隔授業と同様に期間限定でも構わないので、録画して復習できる環境を作してほしい。</p>	教務課	<p>・今回、遠隔授業を実施したことで、学生の皆さんにとって良い面と悪い面があることがわかりました。新型コロナウイルス感染症が終息した後、対面授業が主流となったとしても、録画視聴等を含む遠隔授業の良い面は継続できるか検討します。</p>	左記と同様

【その他】

<学生からの要望>	部署	<進捗状況>	<現状>
<p>・留学生は初めての事ばかりですので、入学後1週間程度は誰かがついてサポートしていただける制度はありませんか？</p>	国留	<p>・新入生オリエンテーションに始まり、大学生活に慣れるまでは、スタッフがあらゆる場面でサポートしています。約80名を超す新入生を迎えますので、一人ずつについてというわけにはいきませんが、国際交流・留学生支援センターへ来てもらえると一緒にひとりに応じたサポートをしていますのでいつでも相談に来てください。もちろん、新入生だけでなく、皆さんが卒業するまでサポートしています。今回の意見要望を受け、今後のサポート体制に何らかの工夫が出来ないかを考えてみます。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で出入国に制限がかかり、新入生を通常のように迎えることが出来ない状況が今年度続いています。国の方針に基づき、入国ができた新入生たちには、出発前から不安を取り除くため、zoomなどでオリエンテーションを開き、無事に入国を果たしてもらおうべく支援しました。定着支援については、オンライン授業であり、学生同士の時間を作ることも今は出来ていないのが現状ですが、制限下で出来る最大のサポートをしていきたいと考えています。（先輩学生が、身の回り品調達の良い物サポートを行いました）これまでも入学後は、国籍別のSNSグループにメンバー登録してもらい、何かあれば相談など出来る窓口としています。通常に戻ったら、先輩学生の支援を体制化させ、活動していきたいと思っています。</p>